

はじめに

青葉区誕生と共にスタートした青葉区民会議は、160名の委員の参加を得て区民会議の可能性を求めて活動を始めました。区民相互の話し合いを大切にしながらも行政とのパートナーシップを大きな目的とし、全市的な視野に立って区民会議の在り方や可能性を追及して来ました。従来の要望、陳情型から区政、市政に具体的な提案のできる自立した区民会議を目指し調査学習に励んできました。年間計画を立てながら、自主的な運営を心がけて来た事も今回の成果に繋がっています。港北区、緑区との3区の交流会。2年間で4回の施設見学会。広聴の充実を求め区民に参加を呼びかけた、連続公開講座の開催等は、他区に先駆け大変貴重な体験でした。今後の区民会議の在り方を考える時に、若い世代の方々の参加や連合自治会、町内会の方々の参加協力が大切になってきます。今回のまとめを今後の活動に生かしていただければ幸いです。

第1期青葉区民会議代表委員 葉山 節子

目次

第1期青葉区民会議活動要領	1
第1期運営委員会開催一覧表	2
第1期の主な活動一覧表	3
青葉区民会議設立準備委員会の記録	4
「区民のつどい」開催報告	5
「地域のつどい」開催報告	6
5部会の活動記録	
福祉部会	7
自然環境部会	10
防災・交通部会	13
教育・子育て・生涯学習部会	16
文化・コミュニティ部会	19
街づくり連続公開講座	22
3区交流会、施設見学会、区民まつり参加	23
編集後記	24

第1期青葉区民会議活動要領

1 目的

「ゆめはま2010プラン」に基づく住みよい青葉区の街づくりのために、福祉・環境・教育・地域コミュニティなどの問題について区民相互の話し合いと、行政との対話を進めていくことを目的として、第1期青葉区民会議（以下「区民会議」という。）を設置します。

2 活動

青葉区民の創意により自主的に活動する区民会議は、すべての区民に開放された民主的な運営のもとに進めていきます。

また、区民会議の活動の成果は、議事録や広報紙にまとめ、行政や区民全員に伝え、実現に努めていきます。

3 構成

(1) 委員

区民会議は、200名程度の区民を委員とします。

委員は、次の単位で活動テーマを掲げて広く区民に参加を呼びかけていきます。

A 青葉区民からの公募

B 青葉区内の連合自治会及び各種市民組織からの推薦

(2) 運営委員

運営委員は、20名程度とし、次の方法により選出します。

A 運営委員の互選は、地域に偏りがないように配慮するため、3ブロックの単位で話し合います。

B 各部会の代表者は、運営委員になります。

(3) 代表委員等

運営委員の互選により、代表委員1名と副代表委員若干名を選出します。

4 活動内容と位置付け

(1) 委員総会

委員総会は、区民会議各期の発足の話し合いや部会活動の発表・交流を図るため委員相互で話し合う場です。年2回程度開催します。

(2) 部会

部会は、区民に身近なテーマについて委員相互で話し合うテーマコミュニティの場です。部会では、テーマについて話し合うほか、調査や学習、体験、共同作業などの実践を通じた活動をすることができます。

(3) 区民のつどい・地域のつどい

「区民のつどい」「地域のつどい」は、地域コミュニティの場また市政広聴の場とし、広く区民相互で話し合

うため、連合自治会及び行政と協力して開催します。

A 「区民のつどい」は、全ての青葉区民に参加を呼びかけて、区の課題について話し合います。年1回程度開催します。

B 「地域のつどい」は、区内を3ブロックに分けて、広く地域住民に参加を呼びかけ地域の課題などを話し合います。地域ごとに年1回程度開催します。

(4) 運営委員会

運営委員会は、委員総会や部会相互の連絡調整、「区民のつどい」「地域のつどい」の開催方法や運営などのほか、区民会議の活動の企画や運営及び次期の設立に関することなどを協議していきます。

(5) 広報委員会

区民会議ニュースを発行するため、運営委員の中から、広報委員を選出して区民会議活動を区民に伝えていきます。

5 委員の活動期間

委員の活動期間は、1期2年とします。

運営委員は、活動に拡がりを持たせていくため2期までとします。

6 顧問

青葉区選出の県・市議員は区民会議の顧問とし、「区民のつどい」などへの参加を強く呼びかけていきます。

7 事務局

区民会議の事務局を、青葉区役所に置きます。

8 改正

この要領を改正する必要がある場合は、委員総会で協議し、決定します。

9 付則

この要領は、平成7年5月20日から施行します。



H7. 5. 20 発足総会

運営委員会開催一覧表

回数	開催日	開催場所	話し合いの内容
第1回	7. 5.20	青葉公会堂	・区民のつどいの開催と内容 ・仮代表委員、副代表委員の選出
第2回	7. 6.10	青葉公会堂	・代表委員、副代表委員、広報委員の選出 ・各部会発足と運営の方法確認
第3回	7. 6.20	青葉区役所	・区民のつどいの運営 ・地域のつどいの開催 ・各部会の連絡体制の検討
第4回	7. 7.28	青葉区役所	・議事録の作成(書記がまとめ次の冒頭に確認) ・連絡体制の確認(運営委員会、各部会の年間開催予定一覧の作成) ・代表者会議の結果(港北・緑区との3区交流呼かけ)
第5回	7. 8.24	青葉区役所	・各部会の翌年度予算に対する要望提出 ・区民会議ニュース「青葉区民会議」創刊号の発行
第6回	7. 9.28	青葉区役所	・平成8年度予算に対する区民要望の確認 ・3区交流について代表委員等により懇談を進める ・北部方面フォーラム等についてアンケート調査を実施
第7回	7.10.28	青葉区役所	・第21回区民会議交流会の参加者の確認 ・施設見学学習会の実施(2回) ・「青葉区民会議」創刊号の確認
第8回	7.11.22	青葉区役所	・第21回交流会参加報告 ・区民まつり参加による効果 ・施設見学学習会参加者の確認
第9回	7.12.21	青葉区役所	・これからの主な活動(委員総会、区民のつどい、地域のつどい)の予定確認 ・「青葉区民会議」第2号の企画 ・3区交流会へ向けた準備状況
第10回	8. 1.11	青葉区役所	・委員総会の内容 ・区民のつどい、地域のつどいの企画書(案)の持ち寄り区民のつどい開催日の確認(7/6)
第11回	8. 1.25	青葉区役所	・委員総会(3/30)の運営 ・「青葉区民会議」第2号の確認
第12回	8. 2. 6	青葉区役所	・委員総会のプログラム確認 ・地域のつどい企画プロジェクトチームの編成
第13回	8. 2.22	青葉区役所	・委員総会の役割分担 ・3区交流の準備状況 ・地域のつどいの日程確認 ・8年度活動計画のとりまとめ
第14回	8. 3.21	青葉区役所	・「区民のつどい」と「地域のつどい」の連携開催の検討
第15回	8. 3.28	青葉区役所	・委員総会当日運営と資料確認

回数	開催日	開催場所	話し合いの内容
第16回	8. 4.25	青葉区役所	・「区民のつどい」と「地域のつどい」の広報 ・3区交流会(7/13)への参加 ・今後の進め方(年間計画検討企画チームと第2期準備小委員会の設置)
第17回	8. 5.29	青葉区役所	・地域のつどい結果意見交換 ・区民のつどいの内容検討
第18回	8. 6.10	青葉区役所	・区民のつどいプログラムの確認
第19回	8. 6.27	青葉区役所	・街づくり連続公開講座、施設見学学習会の実施と取組み ・第2期準備小委員会メンバーの確認 ・区民のつどい当日の運営確認
第20回	8. 7.25	青葉区役所	・区民のつどいを終えて意見交換 ・3区交流会参加者の報告
第21回	8. 8.22	青葉区役所	・「青葉区民会議」第3号の企画 ・平成9年度区民要望の確認
第22回	8. 9.26	青葉区役所	・「青葉区民会議」第3号の確認 ・区民まつりへの参加
第23回	8.10.24	青葉区役所	・第2期準備小委員会検討結果の報告 ・第22回区民会議交流会参加者の確認
第24回	8.11.28	青葉区役所	・第2期準備小委員会検討結果の分析及び取り扱い ・第1期活動記録の編纂 ・9年度「区民のつどい」開催日の設定
第25回	8.12.19	青葉区役所	・「青葉区民会議」第4号の企画 ・第2期委員募集の広報
第26回	9. 1.23	青葉区役所	・委員総会(3/29)の運営方法 ・「青葉区民会議」第4号確認 ・第1期活動記録確認
第27回	9. 2.27	青葉区役所	・委員総会の運営確認 ・第2期設立準備状況 ・第2期部会の発足の仕方
第28回	9. 3.13	青葉区役所	
第29回	9. 3.27	青葉区役所	・委員総会役割確認 ・第2期発足総会役割確認



運営委員会の様子

第1期青葉区民会議の主な活動一覧 (部会活動を除く)

年月日	活動名	活動内容
7. 5.20	第1期青葉区民会議 発足総会	第1期活動要領の確認 地域単位の運営委員の選出
6.10	5部会の発足	5部が発足(各部会活動は、別掲参照)
6.24	区民のつどい	(内容等は、別掲参照)
7. 9	地域のつどい	()
9.21	3区交流代表委員等 懇談会	3区交流会の開催に向けて、懇談と情報交換を継続していくことを申し合わせる。 以後、翌年の3区交流会実現(7/13)まで、随時開催する。
11. 1	区民会議ニュース 創刊号発行	名称を「青葉区民会議」として創刊。年2回発行し、戸別回覧等により活動内容を広報していく。企画・編集を広報委員会が行う。
11. 3	区民まつりに参加	区民会議ニュースの配布、北部方面フォーラムについてのアンケート調査など区民会議活動のPRを行う。
11.20	第21回区民会議 交流会	16区民会議委員、行政が参加(青葉区20名) テーマ:時代の変化に対応した区民会議像を求めて
11.29	施設見学学習会	宮が瀬ダム、青山水源池、城山ダム
12. 9	施設見学学習会	南部斎場、女性フォーラム、市民ギャラリー
8. 3. 1	区民会議ニュース発行	「青葉区民会議」第2号発行
3.28	区民会議活動について のアンケート調査	区民のつどい・地域のつどい・区民会議の運営等について、全委員を対象に実施
3.30	委員総会 地域のつどい 区民のつどい	各部会の交流を深めるため、部会報告や後期の活動計画等について意見交換を行う。 (内容等は、別掲参照)
7.13	3区交流会	昨年9月から、代表委員等を中心に交流会の実現に向けて懇談・情報交換を重ね、開催にこぎつけた(詳細は、別掲参照)
8.28	施設見学学習会	市民防災センター、東京電力(株)南横浜火力発電所
8.31	第1回街づくり連続 公開講座	はげの理解と予防(内容等は、別掲参照)
9. 7	第2回街づくり連続 公開講座	わかりやすいリサイクル(内容等は、別掲参照)
10.17	施設見学学習会	かながわ女性センター、秋本食品(株)野菜残渣処理施設
11. 1	区民会議ニュース発行	「青葉区民会議」第3号
11. 3	区民まつりに参加	区民会議活動の広報のために、部会活動パネル展示や区民会議ニュースを配布して、多くの区民に区民会議のPRを行う。
11.22	第22回区民会議 交流会	16区民会議委員、行政が参加(青葉区17名) テーマ:今、なぜ、パートナーシップが必要なのか
11.30	第3回街づくり連続 公開講座	子どもの心が育つ家庭(内容等は、別掲参照)
9. 1.25	第4回街づくり連続 公開講座	ふるさとづくり(内容等は、別掲参照)
3. 1	区民会議ニュース発行	「青葉区民会議」第4号
3.15	活動記録作成	第1期青葉区民会議活動の記録を小冊子にして整理。
3.29	委員総会	第1期活動を相互に確認。

青葉区民会議設立準備委員会の記録

1 青葉区民会議設立準備委員会の設置 (平成6年11月6日)

平成6年11月6日に青葉区が発足するため、9月3日の委員総会で翌年度に新たに青葉区に区民会議を設けていくため準備委員会の設置を確認し、第十期緑(北部)区民会議を終了しました。

2 目的

今までの区民会議活動を振り返って、活性化された新しい区民会議の設立を図るため「新区民会議の名称・委員構成・組織・任期・活動内容・顧問、自治会、行政との関係等」を検討事項として、設立に向けた協議をしました。

3 委員

16名。
(第十期緑(北部)区民会議委員15名と行政1名)

4 活動期間及び委員会等の開催

青葉区発足(平成6年11月6日)から第1期青葉区民会議発足総会の運営(翌7年5月20日)まで、次の委員会等を開催しました。

準備小委員会	6回
小グループ検討会	3回
青葉区民会議設立説明会	1回

5 区民会議を活性化させるために検討された主な内容 (下表)

検討項目	協議の内容	結 果 ・ 工 夫
活動内容について	応募動機としての活動内容の示し方 できるだけ早く活動を開始する。	活動要領の目的に示し、募集呼びかけ文に盛り込む。 発足総会の前に、全新委員活動関心テーマの意向調査を行い、発足時点でその報告をし、速やかに部会を発足。
組織について	活動費の確保	区民会議費としての、予算化は困難。年間活動計画の作成で、調整していく。
	運営委員の育成	活動に拡がりを持っていくためにも、多くの方が経験できるように、2期4年の制限を設けた。
委員の募集について	顧問の積極的な参加。	地域の街づくりを目的としているので、県・市議員に強く参加を呼びかける。
	名簿だけの委員をなくしたい。	団体推薦は、活動内容を示し意欲の強い人の推薦を依頼 推薦依頼団体をしぼり込む。
その他	活発な活動をする公募委員を重視。	公募委員枠を半数に拡大し、広報の強化のため募集呼びかけチラシを回覧する。
	活動要領の文章	肩の張らない、親しみやすい表現に、堅苦しい区民会議のイメージにもつなげたい。

「区民のつどい」・「地域のつどい」開催報告

平成7年5月20日に発足総会を開催した第1期青葉区民会議は、20名の運営委員と代表委員に葉山節子さんを選出し、5つの部会を設けて活動をはじめました。

また、「区民のつどい」「地域のつどい」を広く区民相互で話し合うため、連合自治会及び行政と協力して開催しました。

なお、「つどい」における要望などの主なものは、区民要望として「市民のひろば」に、回答が示されています。

「区民のつどい」

平成7年度

日時 平成7年6月24日(土)
午後1時30分から4時
場所 青葉公会堂
テーマ 美しい街・災害に強い街づくり
—新生 青葉区にあなただけの声を—
参加者 189人

この年は、1月17日に「阪神淡路大震災」が起き、地震などの災害に対する意識の非常に高い中で、日頃からの防災対策の重要性が求められる時期の開催となりました。

行政からは、廣瀬区長ほか区内の関係機関から多くの出席者をいただきました。また、大震災にあわれた神戸市から、地域の復興にリーダーとしてご苦労されている山花雅一さんをお迎えして、貴重な体験談を聞きました。

「つどい」は、区内在住の伊藤エイミーまどかさんのピアノ演奏のあと、今年度の主要事業の説明・山花雅一さんの講演に続いて、区民相互による話し合いを行い、13人の区民から発言があり、最後に区長から「一人一人が自分を守ることが基本です。行政もできることに努め協力しながら、防災対策に当たっていきいたい。」との感想をいただき終了しました。

◎山花雅一さんの講演から

住民の主体的な街づくりを地域で進めてきました。永年つちかわれてきた住民同士のつながりが、震災直後の住民による迅速な消火作業や住民の安否確認、そして、その後の避難所生活に役立ち、復興に立ち上がる大きな力になりました。

◎区民からの主な発言項目

- ・緊急避難場所確保、整備と物資の備蓄問題
- ・災害時の飲料水問題
- ・公共施設の整備問題

平成8年度

日時 平成8年7月6日(土)
午後1時30分から4時30分
場所 青葉公会堂
テーマ 第1部 市政・区政に望む
第2部 人にやさしい街づくり
参加者 221人

区民相互の話し合いをよりよいものとしていくために、「地域のつどい」とつながりのある形で開催しました。そのため、今年は「地域のつどい」を先に開催し、その結果を「区民のつどい」のテーマ提供に反映しました。

行政から齋藤助役や廣瀬区長のほか多くの方の出席をいただき、話し合いの間に平成6年度要望の一つである「青葉区音頭」が、区民により披露されました。

「つどい」は、2部構成で従来の第1部と先に開催した「三地域のつどい」の結果から、運営委員3人が話し合いのテーマ提供をした第2部に分けて運営しました。話し合いは、全体で延べ30人の区民から発言があり、最後に齋藤助役から「青葉区は、皆さんが積極的に生きていられる。そして、明るさ・美しさ・あたたかさ・やさしさの感じられる区という意識を強くしました。また、障害のある方が積極的に発言されたことが印象的でした。」との感想をいただき終了しました。

◎第2部 話し合いのテーマ提供

- 早川委員：地域コミュニティ・災害・環境美化
- 高橋委員：教育・子育て
- 中井委員：福祉と地域社会

◎区民からの主な発言項目

- 第1部
 - ・福祉施設整備問題
 - ・地域環境問題
- 第2部
 - 上記のテーマ提供をもとに、区民同士の意見交換をしました。

「地域のつどい」

「地域のつどい」は、区内の南・中・北部の三地域で連合自治会と共催して、だれもが自由に参加をし、行政の当該年度の主要事業についての説明をもとに、地域の問題について区民相互の話し合いと行政との対話をとおして、住みよい街づくりを目指して開催されています。

平成7年度「地域のつどい」開催結果一覧表

区分	地域名	開催日時	会場	参加者数	発言者数
南部地域のつどい	奈良、奈良北団地 恩田、青葉台	7月9日(日) 14:00~16:00	若草台地区センター	99名 (61名)	21名
中部地域のつどい	中里、中里北部、市ケ尾 上谷本、谷本	7月6日(木) 14:00~16:00	青葉区役所	95名 (61名)	12名
北部地域のつどい	山内、荏田、新荏田、すすき野	6月28日(水) 14:00~16:00	山内地区センター	99名 (60名)	13名

参加者数()内は区民の人数

平成8年度「地域のつどい」開催結果一覧表

区分	地域名	開催日時	会場	参加者数	発言者数
南部地域のつどい	奈良、奈良北団地 恩田、青葉台	5月19日(日) 14:00~16:00	若草台地区センター	127名 (75名)	18名
中部地域のつどい	中里、中里北部、市ケ尾 上谷本、谷本	5月18日(土) 14:00~16:00	藤が丘地区センター	120名 (75名)	18名
北部地域のつどい	山内、荏田、新荏田、すすき野	5月25日(土) 14:00~16:00	山内地区センター	120名 (74名)	16名

参加者数()内は区民の人数

平成7年度

◎区民からの主な意見・要望

南部地域

- ・区役所へのバス便の改善や充実を。
- ・文化施設、地区センターや区役所出張所の整備を。
- ・こどもの国線の通勤線化の促進を。

中部地域

- ・風俗関係の自動販売機の撤去指導を。
- ・東名高速インター新設による環境対策を。
- ・旧区庁舎の活用を。

北部地域

- ・市営地下鉄3号線のあざみ野駅以北への延伸を。
- ・北部方面フォーラム等建設は、市民の声の反映を。
- ・交通安全のために、安全施設の整備を。

平成8年度

南部地域

- ・福祉施設の早期整備を。
- ・公共施設建設も自然環境の保護を。
- ・青葉台地区の放置自転車対策を。

中部地域

- ・広報紙の全戸配布システムの確立を。
- ・東名高速インターに「青葉インター」の名称を。
- ・違法駐車取締りや信号機の設置で交通安全を。

北部地域

- ・市営地下鉄3号線のあざみ野駅以北への延伸を。
- ・地区センターの休館日減など利用方法の改善を。
- ・市バス「江田駅~新横浜駅」線の復活を。

5 部会の活動記録

福祉部会の活動記録

1. はじめに

私達は、平成6年11月の青葉区誕生を受け、平成7年5月発足の区民会議と共にスタートしました。

平成7年度の横浜市のテーマは、「ヒューマンなまち横浜」であり、その三本柱の一つが「福祉の街づくり」になっていました。

このことは、私達福祉に関心を寄せる者にとって大いなる推進力となり、地域福祉を目指し鋭意学習・話し合い、それを市政に反映させる上で強力な指針となりました。

福祉部会では、市・区の現状を把握、学習し、浮かび上がってきたさまざまな課題を論議、明るい将来を目指し日々楽しく部会活動を続けています。

2. 部会の現状

部会員は、民生委員・福祉の各種ボランティア・地域でさまざまな活動をしている人、そして福祉に関心を持つ人など、多士済々です。

毎月の例会は出席率もよく、活発な話し合いの中から課題や、その解決の糸口等が出てきます。



昨年10月、部会員の提言で、活動をより活性化させるための方策として、プロジェクト制を設け、その都度チームを結成、

生きた情報収集と活用をはかる他、専門的な調査研究を行い、市・区・地域に密着した要望・提言を始め施策の補完が出来る体制づくりをしました。

現在、プロジェクトチームは四つで、第1期の総仕上げと、第2期につなげるためのテーマに取り組み中です。

- (1)介護保健について—なぜ必要。対象者は。負担金は。
- (2)障害者、高齢者のスポーツについて—いつでも、だれでも、どこでも、生涯スポーツを。
- (3)高齢者(特に一人暮らし)、障害者の常時安否確認手段の開発—水道(生活用水)の流量をセンサー検知。
- (4)タウンモビリティ(楽々お出かけ)推進—下肢の弱い歩行困難者に電動車の週間貸与。

3. 市・区への要望・提言

障害者、高齢者、病弱者は勿論のこと、誰もが安心して暮らせる街や、住み続けられる環境をつくるためには、公的福祉のハード面と、ソフト面の調和がとれた現実的な施策が望まれます。

そこで、部会は平成8年度に向け次の要望を提言してきました。

その主なものは—

(1)乗り合いバス乗降口の段差の改善。

(2)田園都市線

(東急全線)の駅舎にエレベーターやエスカレーターを設置を。特に、市が尾駅・藤が丘駅を優先して。



公開講座

(3)北部方面斎場の早期建設。

(4)障害者・高齢者が利用しやすい施設づくり。

(5)ボランティア、福祉グループ活動の支援。

(6)痴呆の早期発見、予防対策の確立等です。

また、平成9年度予算に対する「福祉関係の区民要望」の主なものは次のようなもので、他区を凌ぐ16項目となっています。

(1)区内には、障害者や高齢者の福祉施設が少ないので、奈良町以外にも建設を進めてほしい。(地域のつどい要望)

(2)高齢化社会に向けて、区内に24時間体制で在宅介護を緊急対応できる制度とセンターを整備してほしい。

(3)痴呆性老人対策として、各種啓蒙活動や定期検診(成人病検診と同様に)など具体的に取り組んでほしい。

(4)全ての認可保育所で、産休明けからの保育を開始してほしい。

(5)乳幼児の医療費無料化を所得制限なしで、就学時まで延長してほしい。等々です。

—市の9年度予算の支出面では、1月現在「保育施設の設置、老人保健施設の整備など、福祉施策充実」とのこと、地方行財政制度ができて以来初めてのマイナス成長にもかかわらずプラスとなる見通しは、本当に喜ばしい。